

令和元年7月2日(火)・18日(木)

介護相談員さんから…

天間荘では平成28年4月から介護相談員等派遣事業を受け入れています。市町村に登録された介護相談員が毎月2回来荘し、利用者の疑問や不満、不安を受けつけ、天間荘や行政に橋渡しをしてくれています。こうした介護相談員の活動報告(利用者の声や気づき)は、問題の改善や介護サービスの質の向上に活用されています



【食事・嗜好品】

- おやつの前手の消毒がきちんとされていました。

【施設・環境】

- 2F 外階段のドアにぶどうの木に毛虫が発生したのでドアを開けないよう注意書きが貼られていました。いつも庭の緑がきれいで癒されますが管理が大変ですね。
- 「笑顔」と「ありがとう」で人と職場と利用者さんが変わる」と貼ってある言葉がとてもいいことですね。入所者さん一人一人自分の居場所がしっかりとあって皆さん楽しく生活している様子がとてもよく見えました(同じテーブル同士の会話を通して)

【職員のケア】

- 「入浴してとても気持ち良かった」と話してくれた利用者の方のところに「入浴後の飲み物は、お茶とゼリーのどちらがいいですか?」と職員の方が2種類持ってきて選ばせてくれました。
- おやつの際、リクライニングの背もたれを少しずつ上げながら「これくらいいいですか」と本人に確認しながら丁度良い角度でおやつが食べられるよう声掛けをしていました。

【アクティビティ】

- 書道クラブの方々が2か月かけて作成した素敵なのれんが2F、3Fのお風呂の入り口にかけてありました。綺麗に色を付け大きく天間の湯と書かれてありました。
- 3Fに七夕飾りがありフロアに居ながら季節感にあふれています。短冊に「病気が治りますように!」という願い事が書かれていました。
- 「ベランダのキュウリが長雨のため育ちが悪くひょうたんのような形になってしまい残念だ」と言う入所者の方もいました。

【その他】

- 3Fで職員の方がコップの飲み物を利用者の方達がちゃんと飲んでいるか確認しながら、まだ残っている人には「飲んでね」と声掛けをしながらコップを片付けていました。



